

花の山車が集まり激しく練り合う
八幡神社及び物見神社の花祭り



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	はちまんじんじゃおよびものみじんじゃのはなまつり
所在地	津山市阿波・加茂町物見
指定年月日	昭和47年4月21日
解説	八幡神社(阿波)及び物見神社(物見)の秋祭りに、各地区が竹、木、色紙等により製作した「花」(傘形の一種の山車(だし))を青年達が持って練り歩き、御神幸に色彩を添える。御旅所への御神幸が終わると勇壮な花の練り合いが始められ、参詣者は花の芯や柳の枝を得ようとして一時に殺到し激しい練り合いとなることから「けんか祭り」ともいわれる。氏子達の五穀豊穡への感謝と、家内安全を祈願する素朴な信仰を表している。
アクセス方法	【八幡神社】JR美作駅付近から津山市営バス阿波行「大畑」下車徒歩3分 / 津山市役所から車で40分 【物見神社】JR美作河井駅から約3.6km
公開状況	【八幡神社】開催日:11月3日(PM2~3時) 【物見神社】開催日:10月第四土曜日
設備	【P】物見神社には無し <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	八幡神社の花祭りは紅葉シーズンと重なり、3km奥の落合溪谷の紅葉と布滝の景観を楽しめます。八幡神社の社そうは津山市記念物に指定されています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	八幡神社及び物見神社の花祭り
よみかた	はちまんじんじゃおよびものみじんじゃの はなまつり
しょざいち (所在地)	津山市阿波・加茂町物見
していたひ (指定した日)	昭和47年4月21日
せつめい	「花」とよばれる傘(かさ)の形をした“だん じり”の一種(いっしゅ)を青年(せいねん) たちが持って練(ね)り歩き、神さまに奉納 (ほうのう)します。儀式(ぎしき)が終わる と、お参りに来た人たちが花の芯(しん)な どをもらおうとして殺到(さつとう)すること から「けんか祭り」ともいわれています。